

国際交流基金事業報告書

薬学部 3年次生 花谷南帆

1. はじめに

今回私は国際交流基金の助成により、平成28年2月27日から平成28年3月28日までオーストラリアのクイーンズランド州にあるゴールドコーストへ短期語学研修に行き、参りましたので、ここで報告いたします。

2. ホームステイ先

ホームステイ先では両親と私と同年の息子が暮らしていました。父親はニュージーランド人、母親は日本人、息子はオーストラリア人というグローバルな家庭でした。母親が日本人ということもあり日本語が使える環境でしたが、すべて英語で会話することで英語の上達に取り組みました。家庭内の会話は元々英語で行われており、初めの方は何を言っているのか分からず会話に参加することは少なかったです。しかし、日が経つうちに英語にも慣れ会話に参加することができました。ホームステイ先では日本の文化とオーストラリアの文化のどちらも取り入れられていました。それにより日本とオーストラリアの良さを知ることができました。

3. 語学学校



(ホームステイ先の家)

私は留学中ゴールドコーストのサーファーズパラダイスにほど近い Embassy surfers paradise 校に通っていました。Embassy は小規模の語学学校で生徒数が少ないことが特徴です。そのため1クラス10人程度で編成されており、個人の英語のレベルに合わせてクラスが決められました。私のクラスは日本人5人、ブラジル人4人、韓国人2人、香港人1人のクラスでした。また、母国語を使って話をしてはいけないというルールがあったため英語にすぐに慣れることができました。そのおかげで日本人以外の生徒とも仲良くなりやすかったです。

私は朝から speaking 又は grammar の授業を受け英語の向上に努めました。どちらも授業のテーマがありそれをもとにしたゲームが行われました。午後からは必修の授業が行われて教科書を用いました。先生は午前と午後で違う時もありましたがとても優しく、そしてユーモアのある方だったのでクラスの雰囲気も良かったです。そのため他国の生徒は積極的に発言をし、日本人は当てられるまで黙っている等、国民性が見られておもしろかったです。



(先生とクラスメイト)

4. 終わりに

私は今回の短期語学研修において、言葉が通じなくて言いたいことが伝わらないもどかさ、他国の友達との文化の違い、食文化の違いなど外国に行かないと味わえない貴重

な体験をすることができました。1ヶ月間という短い間でしたが凄く充実していて自分の視野を広げるいい機会になりました。又機会があれば今度は長期で行きたいです。そういう体験をさせていただくことができたのも、この国際交流基金の助成のおかげです。本当に有難うございました。今後の自分の将来に大きく役立てたいと思います。